

(松本地域)

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	イルミネーションの光とともに村の魅力、出会いの場提供事業
事業主体 (連絡先)	いくさかiコン実行委員会 代表 小佐野 徹 (0263-69-2032)
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,349,121 円 (うち支援金 : 2,466,000 円)

事業内容

1. イルミネーションの光とともに村の魅力・出会いの場提供事業

平成28年12月3日(土)に婚活イベントを開催。独身男女13名(男性8名、女性5名)が参加し、ピザづくり体験や立食パーティー、イルミネーション点灯式などで交流を深めてもらった。

2. イルミネーションを切り口に観光誘致促進事業

約20万球のイルミネーションを生坂スポーツパーク内(外周約600m)に装飾し、平成28年12月3日～平成29年2月28日まで点灯した。村内外から多くの方にご来場いただき、生坂村の魅力を感じてもらった。

3. 写真コンテスト開催で生坂村を発信事業

イルミネーション点灯期間中に誰でも参加できる写真コンテストを開催し、村内外から9作品を応募いただいた。

会場に隣接する村営やまなみ荘のロビーに作品を展示して投票できるようにし、その投票数とFacebookページでの「いいね」の数を集計して審査を行った。

4. 観光誘致イベント事業

平成29年1月1日より、村営やまなみ荘ご利用で一定の条件を満たした方を対象にオリジナル保冷温バッグのプレゼントを行った。先着300個限定で1月20日にはすべての配布が完了し、たくさんのお客様にご好評いただいた。やまなみ荘のロゴを入れたバッグを皆さんに使っていただくことによるPR効果も期待できる。



【イルミネーションの様子】
(フォトコンテスト優勝作品)

【目標・ねらい】

- ① 冬季観光資源の開発(イルミネーション)
- ② 婚活イベントを通じた結婚支援(少子化対策)および移住促進
- ③ フォトコンテスト開催で、県内外に生坂村をPR
- ④ イルミネーションやプレゼント企画による生坂村および村営やまなみ荘への誘客

※自己評価【 C 】

【理由】

今後は下記について検討要。

- ・婚活イベントへの村内からの参加促進
- ・フォトコンテスト応募者数増加施策検討
- ・やまなみ荘と連携したプラン検討

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 平成26年度からイルミネーションを始め、毎年規模を拡大するとともにデザインを見直し、質を高めてきた。3年間継続することで認知度も高まり、冬季観光資源として一定の効果を上げることができている。
 - イルミネーション来場者数
平成26年度：約2,000人 平成27年度：約2,200人 平成28年度：約2,400人
- ② 婚活イベントは以前から村内の方の参加が少なく、今年度は0名であった。近隣市町村から参加いただき生坂村のPRや移住促進には繋がっているが、少子化対策としては目的を果たせていない。村内の方が参加しやすいように、抜本的な再考の必要があると認識した。
 - 婚活イベント参加者
平成26年度実績 男性8名 女性9名 計17名 (内村民女性1名)
平成27年度実績 男性12名 女性13名 計25名 (内村民男性1名)
平成28年度実績 男性8名 女性5名 計13名 (内村民0名)
- ③ フォトコンテストについては、昨年度より応募者・投票数ともに減少した。作品のレベルは上がっているので、広報のやり方を見直すことでより良いイベントにできると思う。
 - フォトコンテスト応募数
平成27年度 17名17作品 平成28年度 9名9作品
 - フォトコンテスト投票数
平成27年度 計165票 (実績)
平成28年度 計55票 (実績)
- ④ やまなみ荘の誘客という意味では、利用客・売上げの増加は昨年度で頭打ちとなった。国内の消費動向や、やまなみ荘の値上げなど様々な要因が考えられ、一概にイルミネーションの効果を論じることは難しいが、もっとイルミネーションとやまなみ荘が結びついたプランを考えていく必要がある。
 - やまなみ荘利用客 (入浴者 12月～2月)
平成26年度：4,860名 平成27年度：6,378名 平成28年度 6,107名
 - やまなみ荘売上げ (食堂 12月～2月)
平成27年度 前年度より1,530,072円増加
平成28年度 前年度より325,353円減少

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

規模を拡大しながらイルミネーションを3年間継続実施できたことで、冬季の観光資源として定着してきた。しかし、会場の広さと作業工数確保の問題から、これ以上規模を拡大するのは困難である。規模は維持しつつ、デザインや音響、関連イベント等を工夫することで全体的な満足度向上・誘客力アップにつなげたい。

婚活イベントに関しても、目的と合致したものにすべく、時期・場所・内容など考え直し、生坂村の発展に寄与していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある